

## 2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ Sherry 英語教室 ] 担当教諭名 [ 塩飽 隆子 ] ( 5・6 年 14名 )

交流相手国 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Chongming Elementary School ] 担当教諭名 [ Hsui-Wen Chang ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	自分たちのことを知ろう！英語で伝え合おう！	20
	課外活動	日本のことを絵で伝えよう	6

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	日本と台湾の四季の文化
絵に込めたメッセージ	台湾とは同じアジアの文化圏で伝統文化や食事や遊びなどは似ているところが多いが、お互いに自分たちのことを伝え合っているうちに違いに気がついていった。子供の視点から見た両国の類似点と相違点が絵から読み取ってもらえると嬉しい。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの身近な日本の伝統文化を相手に伝えることで、1年を通じた日本の豊かな文化を再認識することができた。</li> <li>・子どもたちが外の世界に関心を持つようになった。</li> <li>・テレビ会議を通して英語で伝えることのおもしろさを実感し、伝わったことで自信を持つことができた。</li> </ul>	相手とはスムーズにやりとりができて問題は特にありませんでした。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
2回のテレビ会議を通して子供たちは相手を身近に感じることができた。同じアジアの近い国に興味を持って実際に行ってみたいという子が何人もいた。また、次は全然違う国とやってみたいと他の国にも関心を持つようになった。	台湾はある程度は知っている国と思っていたが、類似点と相違点に改めて気づいたことが多く、アジアの近い国にもますます関心を持つようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	フォーラムに一人一人の写真を載せて自己紹介をした。 自己紹介カードを相手に送り、相手からも自己紹介カードが届いた。	自己紹介カードで自分をアピールしようとそれぞれに工夫してカードを作成していた。相手の自己紹介カードが届くと自分で日本語に訳そうとする意欲が見られた。	英語
テーマ学習	10月	テーマは四季の伝統文化。4つのグループに分かれてそれぞれが四季の行事を英語でまとめてテレビ会議発表した。相手も四季の行事を模造紙にまとめて発表してくれた。	一年の伝統行事を調べると、家庭で行っているもの、学校で行っているもの、地域で行っているものがあった。あらためて日本は伝統文化を大事にしていることに気づいた。	英語
構図決定	11月	絵に描く内容は四季の文化とはじめに決めて合意していた。構図は日本側から提案して台湾側の合意を得た。	四季をキャンパスの右から描くのか左から描くのか迷った。結局意見の多い右から描くことにした。	英語
壁画制作	11月	相手が12月には絵の下絵を始めたということだったので11月に完成させて12月はじめに絵を送った。	4つのグループに分かれて絵を描いた。自分が分担している季節をうまく描こうと競争意識が生まれ、いい緊張感の中で集中して絵を描いていた。	課外活動
鑑賞・振り返り	3月	作品を教室に展示して鑑賞し、感想を書いた。振り返りシートで活動全体を振り返った。	相手の絵がとても細かく丁寧に描かれていたので驚いていた。「台湾の子は台湾のことを私たちに伝えようと思って描いたと思う」という感想が多かった。	英語

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	自分たちの身近な行事を相手に伝えることを通して日本の文化をあらためて見直すことができました。
異文化の理解	A	5	台湾の文化についてフォーラムとテレビ会議で教えてもらって、日本と同じところと違うところを知り、理解が深まった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	2回のテレビ会議で英語で説明することにしっかり取り組んでいた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	自己紹介と文化紹介を英語で書いてフォーラムにアップし、テレビ会議で相手に伝えることができました。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	C	4	相手の子供たちを台湾にできた友達のように感じる子が多くいた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	グループ内で協力して調べたり、発表したり、絵を描いたりすることができた。
学習を追究する意欲	B	3	身近な文化を調べたが、追求するところまでいかなかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	テレビ会議では日本のことを言葉とジェスチャーで一息懸命相手に伝えようとしていた。壁画制作では絵が苦手な子も絵が得意な子に助けをもらいながら一息懸命描いていた。
作品を鑑賞する力	B	5	相手が絵に込めた気持ちを読み取ろうと熱心に鑑賞していた。お互いに自分の国のことを伝えることができた満足していた。